



梅雨明けが待たれる今日この頃、すでに真夏並みの暑さが続いています。この夏はマスクなしで過ごせる、と思っていましたが、まだ教会ではマスク着用をお願いをされていて、心苦しいことです。もうしばらくご協力をお願いします。なお、くれぐれも熱中症予防の対策（適度な水分、塩分を摂る、体温調節、疲労を貯めないなど）を忘れずに。

+++++  
自主グループ

## おそうじぐるーぷ

おそうじぐるーぷは教会のトイレ、1階の聖堂以外の部分、2階の各部屋とロビーなどを掃除しています。

トイレ掃除は2人1組で隔週交代、月2回、水曜日午前10時から行っています。1階ロビーと2階各部屋とロビーは全員（只今5人）で1週間おきの金曜日午前10:30から行っています。

一人のメンバーが「お掃除は予習・復習も宿題もないから楽ね」と言っていました。まさに名言だと思いませんか？

メンバー一人一人、視点や得意分野が異なり、それぞれ神様からいただいたタレントを活かしてお掃除に励んでいます。

掃除をした後の空気の清々しさに、つい自画自賛し、掃除して良かった、と皆で満足しています。この掃除の後の清々しさは、掃除をしたものでないと味わえないと思います。

みなさんも一緒に清々しさを味わいませんか？老若男女どなたでもお待ちしております。  
八代



内容【活動紹介】おそうじぐるーぷ・初金ロザリオの会、青年会  
【あなたがたは喜びに溢れるように】【訪問】ベタニア会シスター【堅信式を終えて】  
【信徒委員会】聖母被昇天ミサ・駐車場利用【総務部】お願い・受付【広報部】部員募集  
【財務部】部員募集【ウエルカムグループ】【堅信式について】【主によばれて（20）】

# 初金ロザリオの会

【毎月第一金曜日 10:30～ 小聖堂にて】

40年ほど前、秋田の湯沢台の涙のマリア像に出会った信徒の方々数名で、ロザリオの会は始められました。私が25年前に初めて参加した頃は、ロザリオ一環を皆で祈った後に、初金のミサに与り、その後昼食を取りながら分かち合いをしておりました。

暫くしてミサは無くなりましたが、ロザリオの祈りと分かち合いは続いていました。

しかし残念ながら、3年前のコロナ流行に伴って休止せざるを得ませんでした。やっと今年3月から祈りと飲食無しに分かち合いを再開する事が出来ました。(現在進行中) 感謝です!!

聖書のみ言葉と共に、祈りを必要をしている方、苦しみを抱えている方、病に伏している友人、またその友人、家族等々の為に心をひとつにしてロザリオ一環を捧げています。

どなたでも参加できます。第一金曜日 10:30 に小聖堂にいらっしゃいませんか。  
酒井



## 青年会

毎月第4日曜日ミサ後に集まって、分かち合いなどをしています。

ゆるい感じで集まっておしゃべりして、教会に若者のための居心地の良い場所を作りたいと思います。途中からの参加や途中で抜けても問題ありません。是非誘い合ってご参加ください。

次回は7/23(日)2階和室(ナザレの部屋)でおこないます。

お待ちしております。



青年会 石黒



## ベタニア会のシスターが7/2 大宮教会においでになりました



ベタニア修道女会  
清瀬地区

ベタニア修道女会

「～花の道しるべ～ ただ単に植物を育てることにとどまらず、季節が巡ってゆく様子や、植物の色や形、香りなどを肌で感じられる場所を携わる人と共に創り、この庭がこれから地域の人々にも愛されていくことを目指します。」これはお仕事をさせていただいた風のみどり塾のコンセプト。

修道会設立認可80周年記念のアイディア募集の中から、清瀬地区では“ベトレヘム第三修道院前庭を整地して、東屋をつくりベンチを置いて誰でもが憩える場”が実現しました。

<https://sistersofbethany.info/>



### 堅信式を終えて

今年の主の昇天の祭日のミサで堅信式が行われ、私はカトリックになりました。堅信式の半年ぐらい前からカトリック教会に入りたくと切実に思い始めましたので、やっとなれたと現在も感動しています。

神様と山口神父様と代父になってくれた石黒さんにも感謝しかありません。

私は主に翻訳の仕事をしていますので、聖書をギリシャ語とヘブライ語からラテン語に翻訳した4～5世紀の教父の聖ジェローム（「ジェローム」は英語の発音で日本語では「ヒエロニムス」と呼ばれている）の名前をクリスチャンネームとしていただきました。

以前は福音派のプロテスタント教会に通っていましたが、そこでいただくパンと葡萄酒（グレープジュースの場合が多い）は残念ながらシンボルであり、本当のキリストの聖体ではないと教えています。ですからカトリックの信者として聖体拝領ができるようになって信仰が日々成長していると実感できました。

また普段音楽には無頓着ですが、教会で歌う聖歌もすべて美しく、天使と聖人が神様の御前で歌っている賛美の歌もこのようなものだと思わせるほどです。

これから数年大宮に住むつもりですからよろしくお願いします。これからも私のために祈ってください。私も大宮教会のみなさんのためにいつも祈っています。

神に感謝

タートン



私が 30 才の時でした。日本語学校が終わった頃、日本海の海岸にある羽幌町に新しい教会ができました。「安心しなさい。信徒はほとんどいないから、説教も要らないし、ゆっくりあたららしい生活と日本語の言葉に慣れればよい」と励まされて、そこへ送られました。それでも不安のうちにそこに着きました。

ところが3日後の朝、小さい聖堂は信者ではない若者に溢れていました。2、3人の信者の内に 22 か 23 歳ぐらいの女性、中学校の先生、がいました。遠い田舎から来たそうですが、まじめな顔でごミサに参加したが、そのあと、皆と交わらないで、間もなく消えてしまった。

何週間経った後、彼女は見当たりませんでした。あの先生はどうなったのかと思う人に聞いたのですが、彼女はこう言ったそうです。「教会をやめた。もう行きません。あまり掟と決まりに縛られて、何もできないことになった。だから教会をやめた。それでやっと自由になった。」かわいそうな娘だなあ。むなしい生活があなたを待っている。

もう 58 年前も昔のことですが、今も彼女の事を忘れたことがありません。自由と求めた幸せを見つけたのでしょうか？ある時洗礼を受けたが、厳しい神様だけで、自分を愛するイエス様に会う事ができなかったのでしょうか。主のほほえみを見たことがないのでしょう。

古い公教要理に育てられたと思います。その十の掟を厳しい重荷と心の責めのように感じたのではないのでしょうか。「父母を敬うべし、殺すなかれ、姦淫するなかれ、盗む

なかれ、偽証するなかれ、など」。それは本当に厳しい神様の厳しい定めでしょうか。

かえって神様はこう言うのではないのでしょうか。「わが子よ、見よ、私の美しい宝をあなたの弱い手に与える。家族、命、生、財産、真実や名誉を。それを受け取って喜んでほしい。大切にしなさい。大いに喜びなさい。私の愛のプレゼントなのです」

実に、私たちが掟を守ることで、掟が私たちを守ってくれる。暖かい巣が小さい鳥の命を守っているように、雌鶏の翼が可愛いひよこを守って温めるように。巣は狭いものですが、命に溢れている。雌鶏の羽も責めるのではなく、かえってそこには安心感と自由がある、母のあたたかい腕の中のよう。

「掟」はいのちへの道しるべ、神様の愛の畑の花で、傷をつける茨ではない。「私の愛に留まりなさい、喜びに溢れるように」それは主の最後の望み、最後の願いでした。ああ、なんと夢のようなすごい話ではないのでしょうか。確かに、どれほどの力を持ってても、このような愛を自分の内から絞り出すことはできません。これは上からいただくものです。「間もなく、あなたがたは上からの力を得る。」

心を開き、大いに望みましょう。聖霊は愛するたまものを与える。「私の喜びがあなたがたの内にあり、またあなたがたが喜びに溢れるように。」

2021/5/9 ウルバン・サワビエ神父

\*ウルバン神父様は北海道・札幌北 11 条教会協同司祭、90 歳、司祭叙階今年 65 年のフランシスコ会の司祭です



## <信徒委員会・各部からのお知らせ>

【平日ミサ】毎週火～金 AM7 時小聖堂・土曜日夕方ミサはありません

+++++

### <信徒委員会より>

- ・聖母被昇天ミサ 8月15日(火)11:00～
- ・雨天時の駐車場利用について  
園庭の状態を見て使用できない時は10:00までに「駐車できません」の表示を出します。小聖堂前の駐車場は体の不自由な方、体調のすぐれない方優先ですので、ご協力お願いします。
- ・地区部主催「感謝の集い」9/17(日)開催予定  
(詳細は後日対象の方にお送りする招待状をご覧ください)

### <総務部より>

- ・自主グループの活動が本格化してきました。以前と同様に、使用する部屋の入口にグループ名の記載された札を掛けてください。
- ・受付当番がいる時間は  
**5月第2週から**  
**毎週金曜日 10:30～13:00**  
毎週日曜日ミサ後 13:00 まで

### <広報部より>

おおみや教会通信を発行している広報部では、現在各自の事情により実際に活動できる部員が少なく困っています。広報部は文才がある人しかできないと思っている方がいらっしゃいますが、実際は心配ご無用です。

- ・原稿を依頼する ・通信を印刷する
- ・印刷した通信を折り、設置（教会1階ロビー、小聖堂）する

月に一度これらの作業を手伝ってくださる方がいると助かります。これならできそう、と思う方は受付にお声がけください。

広報部 槻田

### <財務部より>

財務部でご協力いただける方を募集いたします。大宮教会とさいたま教区を財務面で支える大切な勤めで、以下のチームに分かれて作業しています。

- ①ミサ献金の集計 ②維持費の集計
- ③経費支払い・伝票作成 ④会帳簿作成

作業日は第二、第四日曜日のミサの後です。

① ② ③は現金を取り扱うので最低2人以上で作業していますが、部員数を増やして交代シフトが組めるように、またできる範囲でパソコンも導入したいと考えています。奮ってのご参加をお待ちしております。

### <ウエルカムグループより>

ウエルカムグループは信者同士（特に教会に来始めて間もない方）が、ミサの後お茶を飲みながら他の信者とおしゃべりしたり、くつろぐことができるよう活動していましたが、コロナ禍ではお休みしていました。

先月から熱中症予防のための水分補給を目的として、再開していますが、皆様に3点お願いがあります。

- ・水分を摂る時以外はマスクの着用をお願いします。
- ・ウエルカムグループは皆様のご寄附で成り立っています。お茶、コーヒー等の飲料、お茶菓子（賞味期限にご注意願います）の寄附、献金を願ひ致します。
- ・ウエルカムグループの仲間募集（コロナ禍のお休み中に健康的な理由から活動できなくなったメンバーが複数おり、困っています。短時間でもお手伝いできる方、是非お声がけください!）。

ウエルカムグループ 小池

### <堅信式について>

堅信式を11月5日(日)に行います。

希望される方は事前に申し込み、勉強会(3回)を受けてください。

勉強会の日程は

中高生向け：9月2日、9月30日、10月14日  
(いずれも土曜日 午後7時から9時)  
大学生・成人向け：9月3日、10月1日、10月15日  
(いずれも日曜日ミサ後)

締め切り：8月27日(日)

よろしくお願ひします。

担当：斉藤

## † 主に呼ばれて (20) †

3月から通学する英語学校も決め、授業開始の前日に戻ってくるチケットも入手でき、荷物も預けて2週間ほど日本へ戻ることになりました。お金もあまりないので、日本に戻るのにはガルーダ・インドネシア航空の便を使いました。

ホリデーシーズンも終わり、飛行機はガラガラでした。パースからバリまでは約4時間。オーストラリアの西海岸沿いに北上していくので、オーストラリア大陸がよく見えました。

昼過ぎにバリについて、待合室で待つことになりました。空港からは出られないので、そこにお弁当のようなものを「食べて」と渡されました。お金を取られるのかと思い、警戒していたのですが、無料だと分かったので、もらいました。

お弁当をもらって食べようとしていると、日本人が近づいてきました。話しているとメルボルンで語学留学をしているとのこと、あちらも一時帰国することでした。成田行きの飛行機が出るまで9時間近く。退屈しないですみました。

バリからの飛行機は日本人で満席でした。夜にバリを出て、ジャカルタ経由で日本に向かいます。成田には朝に到着しました。4か月ぶりですが、懐かしさを感じず、バタバタしているうちに、オーストラリアに戻る日になりました。

帰りは飛行機の乗り継ぎの関係で、バリに1泊することになりました。バリには夜に到着、空港で5,000円ほど両替して、70,000ルピーほどもらった覚えがあります。

入国審査を終えて、ガイドブックで安いホテルを見つけて、向かおうとしたところ、「ホテルを探しているのか？いいホテルがあるよ。」と声をかけられました。ホテルの客引きかと思い、車に乗せてもらい、ホテルへ。安いわりにエアコンもあったので、そこに決めました。

こちらはてっきり客引きだと思っていた男性は、どうやらタクシーの運転手。正規のタクシーではないようですが、タクシー代を要求されました。その

つもりで乗ってなかったのに、お金はないよと言うと、ガソリン代がかかっているなどと言いました。そんなこと知らないよ、乗れと言ってきたでしょうと口論に。あまりにしつこいので、1,000ルピー札を1枚だけ渡しました。運転手は半泣きで行ってしまいました。私からすると1,000ルピーもあげた感覚だったのですが、日本円にすると70円くらいです。あとから思うと半泣きになるのも分かる気がしました。

翌日の午前中は少しだけバリの街を歩きました。のどが渇いたので、ケンタッキーフライドチキンに入ってコーラか何かを頼みました。お金を払うと、おつりは飴玉でした。お金の価値がなさ過ぎて、硬貨を作ることができないようです。お昼はインドネシア名物の屋台のチャーハンのようなものを食べて、空港に向かいました。

パースには夕方到着。翌日から英語学校が始まりました。月に1回新入生が入校する日があります。ちょうど日本の大学が春休みの時期で一緒に入校した学生も多かったのですが、2週間から1か月程度の短期語学留学の大学生でした。

この日は少し早く来て、クラス決めの試験を受けるよう言われていました。わりと成績が良かったのと、学習期間の関係でオックスフォード英検の準備クラスに入れてもらえました。オックスフォード大学が主催している検定試験があり、英語の実力が認められる検定です。英検のようなものですが、世界のどこでも通用します。

このクラスは6月に実施される試験を目指して、合格できるようにカリキュラムを組んでいますし、担当の先生も合格率を上げるべく、熱意ある先生が担当していました。クラスは日本人が私を含めて3人とスイス人が6人の9人のクラスでした。9時から12時までが午前の授業。途中10時半前後に20分ほど休憩がありました。午後は1時から3時までが授業でした。

見沼区 齊藤

🍀 おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.net>) でご覧になれます。

\* ご意見や投稿 (本などの感想、特集してほしいことなど) を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

\* おおみや教会通信 次号の発行は9/17予定 (原稿締め切り: 9/3)

